

エクセル日本一

高校生らの部門

名南工の喜覚さん

全国の高校生や大学生ら延べ約4万5千人が参加したパソコンの操作技能を競う大会で、県立名南工業高校3年の喜覚瞭さん(17)は名古屋市瑞穂区に、表計算ソフト「エクセル」の高校生や高専生らの部門で日本一になった。「信じられない」と驚いている。

大会は「MOS世界学生大会2014」の日本大会。MOSとは「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト」の頭文字で、マイクロソフト社のオフィス製品「ワード」や「パワーポイント」などの操作技能を競う。毎年

将来の夢は起業家

開かれており、今回で12回目。喜覚さんは中学入学後、ゲームに親しむようになってパソコンに触れた。パソコンの修理や組み立てにも興味があり、資格取得も目指して中学3年で市内の教室に通い始めた。

大会参加は2回目で、初参加の前年はエクセルで19位、パワーポイントで11位。パソコン教室の講師の足立勉さん(43)が「エクセルは専門用語が多く、文章を正確に読み解く力が必要。こちらのほうが向いている」として、今年はエクセル一本での参加を勧めた。

大会では、数式や関数、グラフの作成方法などの問題を50分以内に解く。喜覚さんは大会参加を決めてから教室で休憩を取らず、1日2時間、黙々と問題を解き続けたという。タイピングの速さを上げるため、好きな歌を聴きながら歌詞を打ち込んだ。

日本一になって「世界が広がった」と感じているという。将来はベンチャー企業立ち上げが夢。「外国から来た人が言葉の壁を越えて日本文化を楽しめるシステムを、スマートフォンを使ってつくりたい」



高校生らのエクセル部門で優勝した喜覚瞭さん(名古屋市内の名南工業高校)